

町田市立学校の新たな通学区域のあり方検討部会の検討結果について

まちだの新たな学校づくり審議会（以下「審議会」）が設置した「町田市立学校の新たな通学区域のあり方検討部会」（以下「検討部会」）では、2020年5月13日、20日の2回にわたって「まちだの新たな学校づくりに関するアンケート調査」（以下「アンケート調査」）の内容について検討を行ってきました。その検討部会における検討結果を整理しましたので報告します。

1 第1回検討部会の検討結果

(1) 町田市立学校の新たな通学区域（アンケート調査案）編成の考え方について

審議会の審議事項である「町田市立学校の新たな通学区域」については、第1回審議会において2020年6月に実施を予定しているアンケート調査において、保護者や市民の皆様のご意見を確認したうえで調査審議するものとししました。

そのご意見を確認するために実施するアンケート調査において示す「町田市立学校の新たな通学区域（アンケート調査案）」については、2020年3月に策定した「町田市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方」（以下「基本的な考え方」）に基づいて、別紙1の考え方で編成するものとししました。

(2) 「町田市立学校の新たな通学区域（アンケート調査案）」編成にかかる検討課題について

「町田市立学校の新たな通学区域（アンケート調査案）」を編成するにあたっての適正規模の実現に向けた主な検討課題について別紙2の内容を踏まえて編成するものとししました。

ただし、児童・生徒数や学級数の状況や通学区域統合の検討対象となる学校が、回答者がわかりやすいように端的に示す必要があることを確認しました。

(3) 「まちだの新たな学校づくりに関するアンケート調査」の構成について

「まちだの新たな学校づくりに関するアンケート調査」の調査票の構成については、検討部会委員から提案のあった構成に基づくものとし、その素案を示したうえで検討するものとししました。

2 第2回検討部会の検討結果

(1) 「町田市立学校の新たな通学区域（アンケート調査案）」について

基本的な考え方に基づいて編成した「町田市立学校の新たな通学区域（アンケート調査案）」をもとに、保護者や市民のご意見をお聞きしたうえで、2020年10月以降の審議会において町田市立学校の新たな通学区域を調査審議するものとししました。

また、10月以降の調査審議に向けて、適正規模を実現する視点から通学区域の統合検討対象校となっている小中一貫ゆくのき学園について、町田の未来の子ども達により良い教育環境を整備する視点から教育委員会において総括することを確認しました。

(2) 「まちだの新たな学校づくりに関するアンケート調査」について

アンケート調査票の素案について、アンケート調査の回答率の向上を図りながら回答者が新たな学校づくりに期待感を持って回答していただくために、下記の内容を見直したうえで第2回審議会において審議することを確認しました。

①調査名について

「まちだの新たな学校づくりに関するアンケート調査」としたうえで、回答者が新たな学校づくりに期待感を持って回答していただけるようなサブタイトルをつける。

②アンケート調査票の構成について

ア 新たな学校づくりに対する期待を持っていただくために「(仮称) 町田市新たな学校づくり推進計画」を、調査票案の 1 ページと一体で文案を見直し。

イ 「児童・生徒数の減少」「学校施設の老朽化」の情報提供をコンパクトにする。

③情報提供の文案について

ア 主旨を損なわない範囲で文章を簡素化する。

イ イラストで表現することができるものは、可能な範囲でイラスト化する。

ウ Web フォームから回答することができない方への案内を加筆する。

エ 全般的な文言整理を行う。

④「町田市立学校の新たな通学区域（アンケート調査案）」の示し方について

回答者が見るべき箇所がわかりやすくなるように工夫する。

⑤設問について

ア 回答者が回答しやすくなるように表現を工夫するとともに、新たな学校づくりに対する期待を回答しやすくなるような設問文とする。

イ 全般的な文言整理を行う。

町田市立学校の新たな通学区域（アンケート調査案）編成の考え方について

1 新たな通学区域（アンケート調査案）編成の考え方

（1）適正規模の実現

基本的な考え方において、より良い教育環境をつくるために、適正規模の実現を目指した望ましい通学区域の編成を目指すとしたことから、「適正規模となる学級数」を上回るまたは下回る学校について、下記の適正規模の範囲に近づくように通学区域を編成します。

- ①小学校・・・1 学年あたり 3 学級から 4 学級（1 校あたり 18 学級から 24 学級）
- ②中学校・・・1 学年あたり 4 学級から 6 学級（1 校あたり 12 学級から 18 学級）

（2）適正規模実現の方策

適正規模の実現を目指した望ましい通学区域を編成するにあたっては、「通学区域の変更」または「学校統廃合（通学区域の分割統合含む）」で対応するものとし、2040 年度までに対応することが必要な通学区域を示します。

（3）町区域による通学区域の区分（地域社会との関係）

通学区域の区分は、地域コミュニティにおける様々な活動との関係にも配慮するために、基本的な考え方に基づいて、原則として町区域（例：森野 1 丁目）で区分して編成します。

また、これまで一部の通学区域において、町区域を分断する道路で区分していた通学区域についても、町区域で区分するものとします。

ただし、町区域で区分して通学区域を変更した場合に教室数が不足する場合や、適正規模の実現が困難となる場合には、町区域で区分しない場合があります。

（4）小・中学校区の整合

子ども達の人間関係や教育活動における小・中学校の連携を強化するために、基本的な考え方に基づいて、原則として、一つの小学校から複数の中学校へ分かれて進学することがなくなるように通学区域を編成します。

ただし、小・中学校区を整合させて通学区域を変更した場合に教室数が不足する場合や、適正規模の実現が困難となる場合には、小・中学校区を整合させない場合があります。

（5）通学区域内における学校の位置 ★重要

学校の位置は児童・生徒の通学時間・通学距離及び安全な通学環境にとって重要な要素であることから、アンケート調査及び意見募集において学校の位置や、通学時間・通学距離が長くなる場合における通学の安全対策を含めた配慮事項に関するご意見をお聞きしたうえで、適正配置の基本的な考え方に基づいて審議会において決定します。

2 新たな通学区域（アンケート調査案）の示し方

新たな通学区域（アンケート調査案）は、長期的な児童・生徒数の減少及び学校施設の老朽化という環境変化に対応した適正規模・適正配置を実現する必要があることから、2040 年度における通学区域を示すものとし、「堺地区」「忠生地区」「町田地区」「鶴川地区」「南地区」の 5 地区に区分して示すものとします。

「町田市立学校の新たな通学区域 (アンケート調査案)」編成にかかる検討課題

1 南地区

(1) 児童・生徒数及び学級数等の状況

適正規模未満 (小学校18学級未満、中学校12学級未満)
 適正規模超過 (小学校24学級超、中学校18学級超)

ア 小学校

小学校区	児童数※1			学級数※1			建築情報※2		通学区域となる 町区域
	2020 年度	2030 年度	2040 年度	2020 年度	2030 年度	2040 年度	建築 年度	経過 年数	
1 南第一小学校	642	704	576	20	21	18	1965	55	金森4～6丁目、金森3丁目の一部 南町田1～2丁目、南町田3～4丁目の一部
2 南第二小学校	326	288	248	12	12	12	1978	42	成瀬5～6丁目、成瀬7丁目の一部 南成瀬4～7丁目
3 南第三小学校	374	352	330	13	12	12	1970	50	金森1丁目、金森2、7丁目の一部 金森東1丁目の一部、高ヶ坂7丁目の一部 原町田1～2丁目の一部
4 南第四小学校	498	458	426	17	16	12	1966	54	小川2丁目の一部 金森2～3、7丁目の一部 金森東2～3丁目、金森東1、4丁目の一部 成瀬が丘2～3丁目
5 つくし野小学校	371	301	232	12	11	9	1970	50	つくし野1～4丁目、南成瀬8丁目
6 小川小学校	444	405	318	14	12	12	1974	46	小川1、3～5丁目、小川2丁目の一部 金森東4丁目の一部、成瀬が丘1丁目
7 成瀬台小学校	637	618	473	18	19	16	1974	46	成瀬台1～4丁目 西成瀬3丁目の一部 東玉川学園2丁目、東玉川学園1丁目の一部
8 鶴間小学校	612	629	668	18	18	20	1976	44	鶴間1～8丁目 南町田3～5丁目の一部
9 高ヶ坂小学校	340	254	193	12	11	6	1978	42	高ヶ坂2丁目 高ヶ坂2～5、7丁目の一部 成瀬8丁目の一部 西成瀬1丁目の一部
10 成瀬中央小学校	342	348	246	12	11	11	1979	41	成瀬1～4丁目、成瀬7丁目の一部 西成瀬2～3丁目の一部
11 南成瀬小学校	356	263	235	12	11	8	1980	40	成瀬8丁目の一部、南成瀬1～3丁目
12 南つくし野小学校	709	860	728	22	26	23	1980	40	小川6～7丁目、南つくし野1～4丁目 南町田5丁目の一部

イ 中学校

学校名	生徒数※1			学級数※1			建築情報※2		通学区域となる 町区域
	2020 年度	2030 年度	2040 年度	2020 年度	2030 年度	2040 年度	建築 年度	経過 年数	
1 南中学校	666	631	514	19	19	15	1968	52	小川2丁目の一部、金森1～7丁目 金森東1～4丁目、金森東4丁目の一部 高ヶ坂7丁目の一部 成瀬が丘3丁目の一部 原町田1～2丁目の一部 南町田1～2丁目、南町田3～4丁目の一部
2 つくし野中学校	729	857	671	21	23	19	1975	45	小川3～7丁目、小川1～2丁目の一部 金森東4丁目の一部 つくし野3～4丁目、つくし野2丁目の一部 鶴間1～8丁目、南つくし野1～4丁目 南町田5丁目、南町田3～4丁目の一部
3 成瀬台中学校	408	445	312	12	12	9	1979	41	成瀬1～4、7丁目、成瀬5～6丁目の一部 成瀬台1～4丁目、西成瀬2～3丁目の一部 東玉川学園2丁目、東玉川学園1丁目の一部
4 南成瀬中学校	510	330	313	14	10	10	1981	39	小川1～2丁目の一部 つくし野1丁目、つくし野2丁目の一部 成瀬5～6、8丁目の一部 成瀬が丘1～2丁目、成瀬が丘3丁目の一部 南成瀬1～8丁目

※1: 2020年度…2020年4月7日の児童数及び学級数

2030年度・2040年度…2019年度に行った児童数及び学級数推計結果

※2: 最も古い校舎を基準とした建築年度と建築年度から2020年度までの経過年数

(2) 適正規模の実現に向けた主な検討課題

①小規模校化への対応

- ア 高ヶ坂（高ヶ坂小学校）
- イ 南成瀬（南成瀬小学校、南第二小学校、南成瀬中学校）
- ウ 成瀬（成瀬中央小学校、成瀬台小学校、成瀬台中学校）
- エ 金森・小川（南第三小学校、南第四小学校、小川小学校）

②大規模校化または教室数不足への対応

- ア 鶴間・南町田（鶴間小学校、南第一小学校、つくし野中学校、南中学校）

③地区内における児童・生徒数の偏在

- ア つくし野・南つくし野（つくし野小学校、南つくし野小学校）

(3) 地区の学校沿革（1945 年度以降）

1947 年度	南小学校、南第二小学校、南中学校開校
1954 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・南小学校が南第一小学校に校名変更 ・南第一小学校金森分校 開校
1958 年度	南第三小学校開校（南第一小学校金森分校が独立）
1967 年度	南第三小学校金森分校 開校
1968 年度	南第四小学校開校（南第三小学校金森分校が独立）
1971 年度	南第一小学校つくし野分校 開校
1972 年度	つくし野小学校開校（南第一小学校つくし野分校が独立）
1975 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小川小学校開校（南第一小学校区、南第四小学校区、つくし野小学校区を分割） ・成瀬台小学校開校（南第二小学校区、町田第五小学校区を分割） ・つくし野中学校開校（南中学校区を分割）
1977 年度	鶴間小学校開校（南第一小学校区を分割）
1978 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・高ヶ坂小学校開校（南第二小学校区を分割） ・南第二小学校を現在地へ移転
1979 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・成瀬中央小学校開校（成瀬台小学校区、南第二小学校区を分割） ・成瀬台中学校開校（南大谷中学校区を分割）
1980 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・南成瀬小学校開校（南第二小学校区を分割） ・南つくし野小学校開校 <p>（南第一小学校区、つくし野小学校区、小川小学校区、鶴間小学校区を分割）</p>
1982 年度	南成瀬中学校開校（南中学校区、つくし野中学校区、成瀬台中学校区を分割）

2 鶴川地区

(1) 児童・生徒数及び学級数等の状況

■ 適正規模未満 (小学校18学級未満、中学校12学級未満)
■ 適正規模超過 (小学校24学級超、中学校18学級超)

ア 小学校

小学校区	児童数※1			学級数※1			建築情報※2		通学区域となる町区域
	2020年度	2030年度	2040年度	2020年度	2030年度	2040年度	建築年度	経過年数	
1 鶴川第一小学校	779	572	376	24	18	12	2015	5	小野路町の一部、野津田町の一部
2 鶴川第二小学校	515	368	348	17	12	12	1973	47	能ヶ谷4～6丁目、能ヶ谷3、7丁目の一部 広袴町の一部
3 鶴川第三小学校	450	365	369	14	12	12	1967	53	鶴川1～2、6丁目、鶴川5丁目の一部 能ヶ谷2丁目、能ヶ谷1、7丁目の一部 広袴4丁目、広袴2～3丁目の一部 広袴町の一部
4 鶴川第四小学校	521	454	406	17	16	12	1970	50	大蔵町の一部、小野路町の一部 真光寺1～3丁目、真光寺町 鶴川3～4丁目、鶴川5丁目の一部 広袴1丁目、広袴2～3丁目の一部
5 金井小学校	521	388	315	17	13	12	1977	43	金井7～8丁目、金井2丁目の一部 金井町の一部、玉川学園5丁目の一部 本町田の一部
6 大蔵小学校	724	542	438	23	17	14	1980	40	大蔵町の一部、金井4、6丁目 金井町の一部、能ヶ谷1丁目の一部
7 三輪小学校	502	506	413	17	17	12	1982	38	能ヶ谷3丁目の一部 三輪町、三輪緑山1～4丁目

イ 中学校

学校名	生徒数※1			学級数※1			建築情報※2		通学区域となる町区域
	2020年度	2030年度	2040年度	2020年度	2030年度	2040年度	建築年度	経過年数	
1 鶴川中学校	590	401	308	16	12	10	2001	19	大蔵町の一部、小野路町の一部 能ヶ谷1丁目の一部、野津田町の一部
2 鶴川第二中学校	747	592	540	20	16	16	1972	48	鶴川1～2、6丁目、鶴川5丁目の一部 能ヶ谷2～7丁目、能ヶ谷1丁目の一部 広袴4丁目、広袴2～3丁目の一部 広袴町、三輪町、三輪緑山1～4丁目
3 薬師中学校	313	213	165	9	6	6	1970	50	金井1丁目、金井町の一部 野津田町の一部、本町田の一部 薬師台1～3丁目、山崎町の一部
4 真光寺中学校	299	222	198	9	7	6	1980	40	大蔵町の一部、小野路町の一部 真光寺1～3丁目、真光寺町 鶴川3～4丁目、鶴川5丁目の一部 広袴1丁目、広袴2～3丁目の一部
5 金井中学校	473	361	277	13	11	9	1984	36	金井2～8丁目、金井町の一部 玉川学園5丁目の一部、本町田の一部

※1:2020年度…2020年4月7日の児童数及び学級数

2030年度・2040年度…2019年度に行った児童数及び学級数推計結果

※2:最も古い校舎を基準とした建築年度と建築年度から2020年度までの経過年数

(2) 適正規模の実現に向けた主な検討課題

① 小規模校化への対応

ア 本町田 (薬師中学校:町田地区)

イ 金井 (金井小学校、大蔵小学校、金井中学校)

ウ 真光寺 (鶴川第四小学校、真光寺中学校)

エ 鶴川・能ヶ谷・広袴 (鶴川第二小学校、鶴川第三小学校)

オ 三輪 (三輪小学校)

(3) 地区の学校沿革 (1945 年度以降)

1947 年度	鶴川小学校、鶴川中学校開校
1948 年度	鶴川中学校を移転
1963 年度	鶴川小学校第二分校 開校
1964 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鶴川第二小学校開校 (鶴川小学校第二分校が独立) ・ 鶴川小学校が鶴川第一小学校に校名変更
1966 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鶴川第一小学校を現在地へ移転 ・ 鶴川中学校を移転
1968 年度	鶴川第三小学校開校 (鶴川第二小学校区を分割)
1971 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鶴川第四小学校開校 (鶴川第二小学校区、鶴川第三小学校区を分割) ・ 薬師中学校開校 (鶴川中学校区、忠生中学校区を分割)
1973 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 【町田地区】 藤の台小学校開校 (本町田東小学校区、鶴川第一小学校区を分割) ・ 鶴川第二中学校開校 (鶴川中学校区を分割)
1978 年度	金井小学校開校 (鶴川第一小学校区、本町田東小学校区、藤の台小学校区を分割)
1980 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大蔵小学校開校 (鶴川第一小学校区、鶴川第二小学校区を分割) ・ 真光寺中学校開校 (鶴川中学校区を分割)
1982 年度	三輪小学校開校 (鶴川第二小学校区を分割)
1984 年度	金井中学校開校 (鶴川中学校区、薬師中学校区を分割)
2002 年度	鶴川中学校を現在地へ移転

3 町田地区

(1) 児童・生徒数及び学級数等の状況

 適正規模未満 (小学校18学級未満、中学校12学級未満)

ア 小学校

 適正規模超過 (小学校24学級超、中学校18学級超)

小学校区	児童数※1			学級数※1			建築情報※2		通学区域となる町区域
	2020年度	2030年度	2040年度	2020年度	2030年度	2040年度	建築年度	経過年数	
1 町田第一小学校	653	717	799	20	22	24	1969	51	旭町1丁目、旭町2丁目の一部 中町1～4丁目 原町田6丁目、原町田5丁目の一部 本町田の一部、南大谷の一部
2 町田第二小学校	382	499	542	13	15	18	1964	56	高ヶ坂1丁目、高ヶ坂2～3丁目の一部 原町田3～4丁目、原町田1～2、5丁目の一部 南大谷の一部
3 町田第三小学校	441	384	303	14	13	12	1965	55	旭町3丁目、本町田の一部、南大谷の一部
4 町田第四小学校	550	509	490	18	18	18	1971	49	森野1～3、5丁目、森野4、6丁目の一部
5 町田第五小学校	563	527	487	17	17	17	1966	54	玉川学園1～4、6～7丁目 玉川学園5丁目の一部
6 町田第六小学校	257	246	189	12	11	6	1964	56	高ヶ坂3、5丁目の一部 本町田の一部、南大谷の一部
7 南大谷小学校	611	607	503	18	18	18	1973	47	高ヶ坂4丁目の一部、玉川学園8丁目 西成瀬1～3丁目の一部 東玉川学園3～4丁目、東玉川学園1丁目の一部 南大谷の一部
8 藤の台小学校	456	358	283	17	12	12	1972	48	金井1、3、5丁目、金井2丁目の一部 金井町の一部、野津田町の一部、本町田の一部 薬師台1～3丁目
9 本町田東小学校	223	198	169	8	7	6	1970	50	本町田の一部、山崎町の一部
10 本町田小学校	371	310	195	12	12	6	1977	43	旭町2丁目の一部、木曽東4丁目の一部 本町田の一部

イ 中学校

学校名	生徒数※1			学級数※1			建築情報※2		通学区域となる町区域
	2020年度	2030年度	2040年度	2020年度	2030年度	2040年度	建築年度	経過年数	
1 町田第一中学校	730	651	629	21	19	18	改築中	改築中	旭町1、3丁目、旭町2丁目の一部 中町1～4丁目、本町田の一部 南大谷の一部 森野1～3、5丁目、森野4、6丁目の一部
2 町田第二中学校	467	527	474	14	15	13	1972	48	高ヶ坂1～3、5～6丁目 高ヶ坂4、7丁目の一部 成瀬8丁目の一部、西成瀬1丁目の一部 原町田3～6丁目、原町田1～2丁目の一部 本町田の一部、南大谷の一部
3 町田第三中学校	367	344	231	11	11	7	1967	53	旭町2丁目の一部 木曽西5丁目の一部 木曽東1、4丁目、木曽東2～3丁目の一部 木曽町、本町田の一部、森野4、6丁目の一部
4 南大谷中学校	469	502	405	14	14	12	1974	46	高ヶ坂4丁目の一部 玉川学園1～4、6～8丁目 玉川学園5丁目の一部、西成瀬1～3丁目の一部 東玉川学園3～4丁目、東玉川学園1丁目の一部 南大谷の一部

※1:2020年度…2020年4月7日の児童数及び学級数

2030年度・2040年度…2019年度に行った児童数及び学級数推計結果

※2:最も古い校舎を基準とした建築年度と建築年度から2020年度までの経過年数

(2) 適正規模の実現に向けた主な検討課題

① 小規模校化への対応

ア 本町田 (本町田東小学校、本町田小学校、町田第三小学校、町田第三中学校)

イ 高ヶ坂 (町田第六小学校)

ウ 金井 (藤の台小学校：鶴川地区)

②大規模校化または教室数不足への対応

ア 中町・原町田（町田第一小学校、町田第二小学校、町田第一中学校）

(3) 地区の学校沿革（1945 年度以降）

1947 年度	<ul style="list-style-type: none"> 町田小学校、町田第一中学校開校 町田小学校第二分校 開校
1952 年度	<ul style="list-style-type: none"> 町田第二小学校開校（町田小学校第二分校が移転独立） 町田第三小学校開校（町田第一小学校区を分割） 町田小学校が町田第一小学校に校名変更 町田第一中学校が現在地へ移転
1955 年度	町田第四小学校開校（町田第一小学校区を分割）
1956 年度	町田第一中学校第二分校 開校
1957 年度	町田第二中学校開校（町田第一中学校第二分校が独立）
1960 年度	町田第一小学校玉川分校 開校
1963 年度	町田第五小学校開校（町田第一小学校玉川分校が独立）
1965 年度	町田第六小学校開校（町田第一小学校区を分割）
1968 年度	町田第三中学校開校（町田第一中学校区、忠生中学校区を分割）
1970 年度	<ul style="list-style-type: none"> 本町田東小学校開校（町田第三小学校区を分割） 緑が丘小学校開校（町田第三小学校区を分割）
1973 年度	<ul style="list-style-type: none"> 藤の台小学校開校（本町田東小学校区、鶴川第一小学校区を分割） 本町田西小学校開校（緑が丘小学校区を分割）
1974 年度	南大谷小学校開校（町田第五小学校区、町田第六小学校区を分割）
1975 年度	<ul style="list-style-type: none"> 南大谷中学校開校（町田第一中学校区を分割） 本町田中学校開校（町田第三中学校区を分割） 【南地区】成瀬台小学校開校（南第二小学校区、町田第五小学校区を分割） 南大谷小学校 通学区域変更（南第二小学校区の一部を編入）
1977 年度	原小学校開校（緑が丘小学校区を分割）
1978 年度	<p>【鶴川地区】金井小学校開校 （鶴川第一小学校区、本町田東小学校区、藤の台小学校区を分割）</p>
1979 年度	<p>【忠生地区】山崎中学校開校（忠生中学校区、本町田中学校区を分割）</p> <p>【南地区】成瀬台中学校開校（南大谷中学校区を分割）</p>
1983 年度	【忠生地区】木曾中学校開校（忠生中学校区、町田第三中学校区を分割）
2002 年度	本町田小学校開校 （緑が丘小学校区、本町田西小学校区、原小学校区を統合）
2010 年度	本町田中学校閉校

4 忠生地区

(1) 児童・生徒数及び学級数等の状況

 適正規模未満 (小学校18学級未満、中学校12学級未満)

 適正規模超過 (小学校24学級超、中学校18学級超)

ア 小学校

学校名	児童数※1			学級数※1			建築情報※2		通学区となる町区域
	2020年度	2030年度	2040年度	2020年度	2030年度	2040年度	建築年度	経過年数	
1 忠生小学校	432	375	303	14	12	12	1966	54	下小山田町の一部 忠生4丁目、忠生2～3丁目の一部 根岸1～2丁目、根岸町、矢部町
2 小山田小学校	292	238	202	11	8	6	1980	40	上小山田町の一部 下小山田町の一部
3 忠生第三小学校	585	502	380	18	17	12	1974	46	木曾西4～5丁目の一部 木曾東1丁目、木曾東2～4丁目の一部 木曾町、森野4、6丁目の一部
4 山崎小学校	367	307	259	12	11	12	1980	40	木曾西5丁目の一部 忠生1丁目、忠生2～3丁目の一部 山崎町の一部
5 小山田南小学校	556	324	224	18	12	9	1983	37	小山田桜台1～2丁目 上小山田町の一部 下小山田町の一部、常盤町
6 木曾境川小学校	462	294	184	16	12	6	1977	43	木曾西1～3丁目、木曾西4丁目の一部 木曾東2～3丁目の一部
7 七国山小学校	601	399	286	18	13	12	1975	45	山崎1丁目、山崎町の一部
8 函師小学校	563	409	279	17	12	12	2008	12	下小山田町の一部、函師町

イ 中学校

学校名	生徒数※1			学級数※1			建築情報※2		通学区となる町区域
	2020年度	2030年度	2040年度	2020年度	2030年度	2040年度	建築年度	経過年数	
1 忠生中学校	702	539	409	19	15	12	1973	47	木曾西5丁目の一部 下小山田町の一部、函師町 忠生1～4丁目、根岸1～2丁目 根岸町、矢部町、山崎町の一部
2 山崎中学校	323	184	133	10	6	6	1979	41	山崎1丁目、山崎町の一部
3 木曾中学校	309	183	120	10	6	6	1983	37	木曾西1～4丁目 木曾西5丁目の一部 木曾東2～3丁目の一部
4 小山田中学校	461	267	219	14	9	7	1983	37	小山田桜台1～2丁目 上小山田町、下小山田町の一部 常盤町

※1: 2020年度…2020年4月7日の児童数及び学級数

2030年度・2040年度…2019年度に行った児童数及び学級数推計結果

※2: 最も古い校舎を基準とした建築年度と建築年度から2020年度までの経過年数

(2) 適正規模の実現に向けた主な検討課題

① 小規模校化への対応

ア 上小山田・下小山田・小山田桜台 (小山田小学校、小山田南小学校、小山田中学校)

イ 山崎 (山崎小学校、七国山小学校、山崎中学校)

ウ 木曾西・木曾東 (木曾境川小学校、忠生第三小学校、木曾中学校)

エ 忠生・函師 (忠生小学校・函師小学校)

(3) 地区の学校沿革 (1945 年度以降)

1947 年度	忠生小学校、忠生中学校開校
1949 年度	忠生小学校木曾分校 開校
1952 年度	忠生第二小学校開校 (忠生小学校小山田分校が独立)
1958 年度	忠生小学校が忠生第一小学校に校名変更
1962 年度	忠生第三小学校開校 (忠生小学校木曾分校が独立)
1968 年度	忠生第四小学校、忠生第五小学校開校 (忠生第三小学校区を分割)
1969 年度	忠生第六小学校開校 (忠生第三小学校区を分割)
1976 年度	忠生第七小学校開校 (忠生第六小学校区を分割)
1977 年度	木曾小学校開校 (忠生第三小学校区、忠生第四小学校区を分割)
1979 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山崎中学校開校 (忠生中学校区、本町田中学校区を分割) ・ 忠生第二小学校が小山田小学校に校名変更
1980 年度	山崎小学校開校 (忠生第一小学校区を分割)
1983 年度	木曾中学校開校 (忠生中学校区、町田第三中学校区を分割)
1984 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小山田南小学校開校 (忠生第一小学校区、小山田小学校区を分割) ・ 小山田中学校開校 (忠生中学校区を分割)
2001 年度	木曾境川小学校開校 (忠生第四小学校区、木曾小学校区を統合)
2003 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 七国山小学校開校 (忠生第五小学校区の一部、忠生第六小学校区、忠生第七小学校区を統合) ・ 忠生第三小学校、山崎小学校の通学区域変更 (忠生第五小学校区の一部を編入)
2009 年度	函師小学校開校 (忠生第一小学校区を分割)
2011 年度	忠生第一小学校が忠生小学校に校名変更
2012 年度	【堺地区】 小山中学校開校 (堺中学校区、忠生中学校区、小山田中学校区を分割)

5 堺地区

(1) 児童・生徒数及び学級数等の状況

 適正規模未滿 (小学校18学級未滿、中学校12学級未滿)

ア 小学校

 適正規模超過 (小学校24学級超、中学校18学級超)

学校名	児童数※1			学級数※1			建築情報※2		通学区域となる町区域
	2020年度	2030年度	2040年度	2020年度	2030年度	2040年度	建築年度	経過年数	
1 小山小学校	806	682	472	25	20	14	1976	44	小山町の一部
2 小山ヶ丘小学校	845	668	507	24	20	16	2004	16	小山ヶ丘6丁目 小山ヶ丘4～5丁目の一部 小山町の一部
3 小山中央小学校	770	540	334	23	18	12	2009	11	小山ヶ丘1～3丁目 小山ヶ丘4～5丁目の一部 小山町の一部
4 相原小学校	407	400	346	12	13	12	1968	52	相原町の一部
5 大戸小学校	130	74	48	6	6	6	1983	37	相原町の一部

イ 中学校

学校名	生徒数※1			学級数※1			建築情報※2		通学区域となる町区域
	2020年度	2030年度	2040年度	2020年度	2030年度	2040年度	建築年度	経過年数	
1 堺中学校	567	464	352	16	14	10	1972	48	相原町の一部 小山ヶ丘6丁目 小山ヶ丘4～5丁目の一部 小山町の一部
2 武蔵岡中学校	73	45	32	3	3	3	1983	37	相原町の一部
3 小山中学校	868	580	382	24	17	12	2011	9	小山ヶ丘1～3丁目 小山ヶ丘4～5丁目の一部 小山町の一部

※1:2020年度…2020年4月7日の児童数・生徒及び学級数

2030年度・2040年度…2019年度に行った児童数及び学級数推計結果

※2:最も古い校舎を基準とした建築年度と建築年度から2020年度までの経過年数

(2) 適正規模の実現に向けた主な検討課題

①小規模校化への対応

ア 相原町(大戸小学校、相原小学校、武蔵岡中学校、堺中学校)

②大規模校化または教室数不足への対応

ア 小山ヶ丘(小山ヶ丘小学校)

(3) 地区の学校沿革 (1945 年度以降)

1947 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小山小学校、相原小学校、堺中学校開校 ・ 堺中学校小山教室設置
1954 年度	堺中学校小山分校 開校
1961 年度	堺中学校小山分校 閉校
1968 年度	相原小学校大戸分校 閉校
1976 年度	小山小学校 現在地に校舎移転
1983 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大戸小学校開校 (相原小学校区を分割) ・ 武蔵岡中学校開校 (堺中学校区を分割)
2005 年度	小山ヶ丘小学校開校 (小山小学校区を分割)
2010 年度	小山中央小学校開校 (小山小学校区、小山ヶ丘小学校区を分割)
2012 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小山中学校開校 (堺中学校区、忠生中学校区、小山田中学校区を分割) ・ 小中一貫ゆくのき学園 (大戸小学校、武蔵岡中学校を小中一貫校化) 開校